

## 18. 献血

近年の医療技術の進歩、少子高齢化の影響等により、医療に必要な血液製剤の需要は年々増加している反面、献血可能な人口は減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

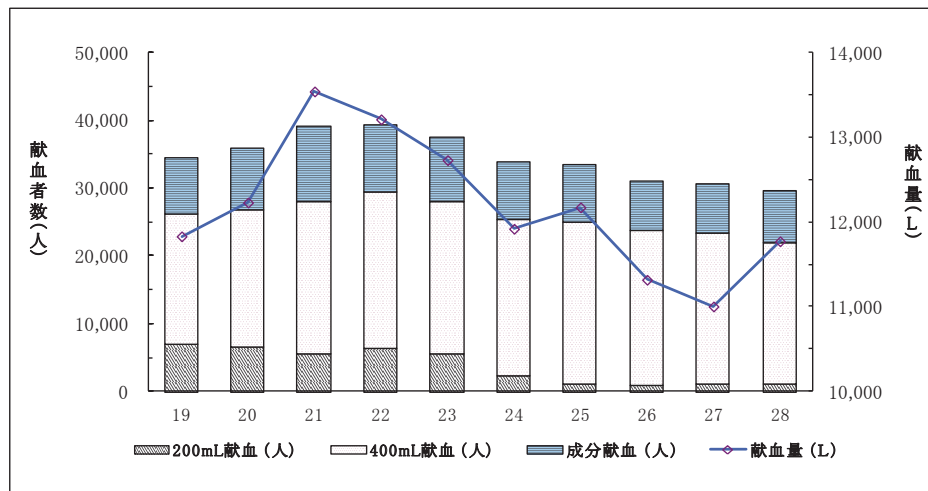
これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成15年7月に施行された。

この法律に基づき、「県内の医療機関で必要な血液は県民からの善意の献血で賄う」を合い言葉に、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

### (1) 献血者数

平成28年度の献血者数は29,707人であり前年度より3.1%減、献血量は11,772リットルであり7.0%増であった。

なお、平成19年度からの献血者数及び献血量は下表のとおりである。



	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	対前年比	構成比	28年度目標
200mL献血(人)	7,015	6,553	5,575	6,357	5,592	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	107.2%	3.8%	1,246
400mL献血(人)	19,131	20,266	22,389	23,105	22,491	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	93.7%	70.4%	23,329
成分献血(人)	8,297	9,059	11,174	9,932	9,434	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	105.2%	25.8%	7,869
計(人)	34,443	35,878	39,138	39,394	37,517	33,845	33,592	30,983	30,655	29,707	96.9%		32,444
献血量(L)	11,831	12,230	13,541	13,212	12,730	11,920	12,173	11,318	11,003	11,772	107.0%		12,861

## (2) 献血適格率等の状況

平成 28 年度の献血希望者に対する献血適格者の割合は、87.8%であった。

このうち男性は 94.0%の適格率を示しているのに対して、女性は血液比重の不足する申込者が不適格者の半分以上を占め、76.2%の適格率であった。

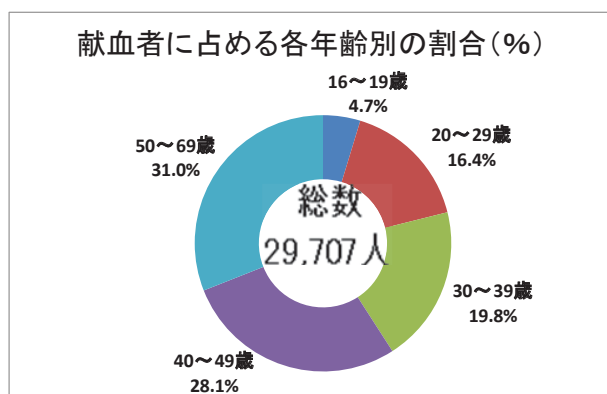
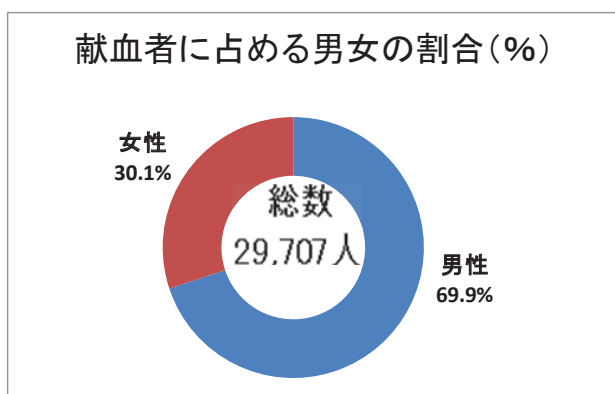
区分	受付者数	献血できなかった人数						献血者数		
		比重不足		その他		計		構成比(%)		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)					
男	200mL献血	100	4	4.0%	11	11.0%	15	15.0%	85	85.0%
	400mL献血	16,405	320	2.0%	705	4.3%	1,025	6.2%	15,380	93.8%
	血しょう成分献血	994	10	1.0%	50	5.0%	60	6.0%	934	94.0%
	血小板成分献血	4,587	29	0.6%	200	4.4%	229	5.0%	4,358	95.0%
	計	22,086	363	1.6%	966	4.4%	1,329	6.0%	20,757	94.0%
女	200mL献血	1,287	144	11.2%	82	6.4%	226	17.6%	1,061	82.4%
	400mL献血	7,772	1,750	22.5%	498	6.4%	2,248	28.9%	5,524	71.1%
	血しょう成分献血	928	60	6.5%	38	4.1%	98	10.6%	830	89.4%
	血小板成分献血	1,757	116	6.6%	106	6.0%	222	12.6%	1,535	87.4%
	計	11,744	2,070	17.6%	724	6.2%	2,794	23.8%	8,950	76.2%
合計	200mL献血	1,387	148	10.7%	93	6.7%	241	17.4%	1,146	82.6%
	400mL献血	24,177	2,070	8.6%	1,203	5.0%	3,273	13.5%	20,904	86.5%
	血しょう成分献血	1,922	70	3.6%	88	4.6%	158	8.2%	1,764	91.8%
	血小板成分献血	6,344	145	2.3%	306	4.8%	451	7.1%	5,893	92.9%
	計	33,830	2,433	7.2%	1,690	5.0%	4,123	12.2%	29,707	87.8%

### (3) 性別・年齢別からみた献血者の状況

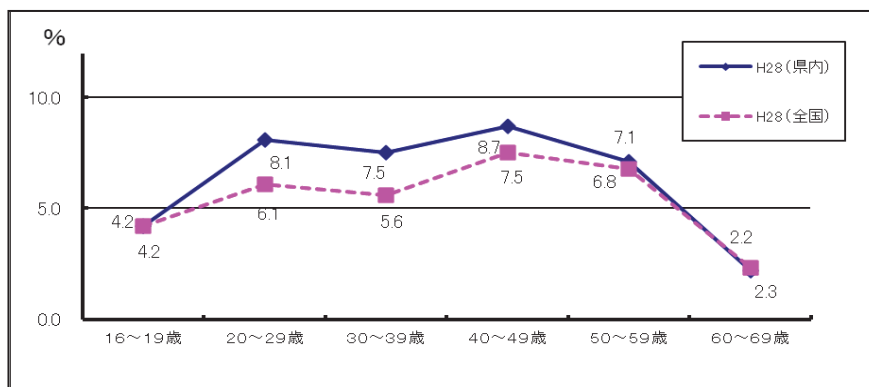
平成 28 年度の性別・年齢別の献血者数は、次のとおりである。性別では男性 68.0%、女性 32.0%（平成 27 年度 男性 68.0%、女性 32.0%）となっており、本県の献血者のうち女性の占める割合は全国平均（参考：平成 28 年 24.5%）と比べて高くなっている。また、その年齢別構成比は 40～49 歳が 28.1%、50～69 歳が 31.0%であり、40～69 歳が全体の 5 割以上を占めている。

年齢別献血率については、16～19 歳が 4.2%、20～29 歳が 8.1%、30～39 歳が 7.5%、40～49 歳が 8.7%、50～59 歳が 7.1%、60～69 歳が 2.2%となっている。

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	26	191	9	241	10	162	16	185	24	282	85	1,061	1,146
400mL献血	769	305	2,686	920	2,992	960	4,316	1,432	4,617	1,907	15,380	5,524	20,904
血しょう成分献血	4	23	106	139	190	183	245	200	389	285	934	830	1,764
血小板成分献血	35	25	427	353	948	440	1,434	529	1,514	188	4,358	1,535	5,893
合計	834	544	3,228	1,653	4,140	1,745	6,011	2,346	6,544	2,662	20,757	8,950	29,707



年齢別献血率（平成 28 年）



※献血率の算定に使用した人口は、『平成 28 年住民基本台帳要覧（財）国土地理協会・出版』に基づく平成 28 年 1 月 1 日現在の人口。

#### (4) 血液製剤供給量の推移

県内における血液製剤の供給状況

上段: 200ml換算数  
(下段: 実本数)

年度	全血製剤	赤血球製剤	血しょう製剤	血小板製剤	合計	備考
19	0 ( 0 )	42,979 ( 24,872 )	18,876.5 ( 6,059 )	37,739 ( 3,772 )	99,595 ( 34,703 )	
20	0 ( 0 )	46,017 ( 26,142 )	24,228 ( 6,830 )	46,700 ( 4,686 )	116,945 ( 37,658 )	
21	0 ( 0 )	46,709 ( 25,927 )	18,648 ( 5,480 )	55,075 ( 5,505 )	120,432 ( 36,912 )	
22	0 ( 0 )	47,269 ( 26,480 )	18,820 ( 5,229 )	48,455 ( 4,846 )	114,544 ( 36,555 )	
23	0 ( 0 )	46,586 ( 25,897 )	19,428 ( 5,282 )	52,170 ( 5,216 )	118,184 ( 36,395 )	
24	4 ( 2 )	46,454 ( 24,428 )	19,554 ( 5,348 )	54,595 ( 5,501 )	120,607 ( 35,279 )	
25	0 ( 0 )	45,093 ( 23,199 )	22,649 ( 6,250 )	54,085 ( 5,410 )	121,827 ( 34,859 )	
26	0 ( 0 )	46,079 ( 23,578 )	20,805 ( 5,743 )	57,185 ( 5,718 )	124,069 ( 35,039 )	
27	0 ( 0 )	42,984 ( 21,944 )	18,320 ( 4,976 )	58,560 ( 5,856 )	119,864 ( 32,776 )	
28	2 ( 2 )	43,406 ( 21,997 )	20,254 ( 5,303 )	53,561 ( 5,358 )	117,223 ( 32,660 )	

※200mL換算本数は、400mL由来製剤=×2 2単位=×2 5単位=×5 10単位=×10  
15単位=×15 20単位=×20 により算定。  
平成19年度分より、FFP-LR1=×1.5 FFP-LR2=×3 により算定。

